

地域友好と新聞販売の
明日を拓くネットワーク

YMSA

淀川メール・サービス・アソシエーション

1月2日(木) 休刊日

淀川散歩

2014年

1月

第166号

毎月25日、淀川区全域で3万部配布/発行:COMプランニング社 〒532-0002大阪市淀川区東三国6-23-13/E-mail:com9@nifty.com

重度の視覚障害を乗り越えて

藤原さん、松野さんの二人三脚で 作品を世に出す夢を追いかける

重度の視覚障害を持ちながらも、趣味でイラストや似顔絵を積極的に描き続けている人の作品が話題を呼んでいる。阪急宝塚線三国駅近くにある三国新道商店街の一角に設けられた「コミュニティスペース」の壁面に、パンダや昆虫の蜂をモチーフにしたイラストをはじめ、ダンス&ポーカーユニットで人気の「EXILE」メンバーの似顔絵などが所狭しと展示されている。商店街を歩き交う買い物客からも「可愛い」などの声を上げて鑑賞している。平成26年1月31日(金)まで展示している。入場無料。

絵の作者は、淀川区 同じくして30代後半に木川西1丁目・障がい 徐々に視野が狭くなる者就労支援事業所「Be H a p p y」に通う松野 恵子さん(46)と三津屋 南さんと、絵のストーリーの組立役を引き受ける藤原秀一さん(48)と。大阪市浪速区Ⅱの2人。共に小学生の頃からイラストを描きはじめ、イラストレーターや漫画家になる夢を持ち続けてきた。しかし、時を



目のハンディに負けずに、いつも笑顔で作品の創作意欲に燃える藤原秀一さん(左)、松野恵子さん(中央)と、2人の夢を見守る杉山美紀さん(右)

三国新道商店街のコミュニティスペースで
26年1月31日まで作品を展示中



2人の作品を常設展示している三国新道商店街の店舗

松野さんは高校卒業後、イラスト専門の学校に通学する傍らデザイン事務所のアルバイトを続けた後、19年前に広告制作会社に正式に勤務。求人広告のデザインの仕事に就きながら、社内結婚する社員たちから依頼を受けて、ウエディング用の似顔絵ボードなどの作品を描いてきた。

一方の藤原さんは落書きからはじめたマンガやアニメの趣味が高じて、漫画家になりたい夢を追いながら高校は美術部に所属。大学に入ってから文芸にも力を注ぎ、漫画やアニメのキャラクターをストーリーで発展させる技法を磨きつつ、25年前に商業施設に就職。事務の補助やイベントなどを手伝える事に携わってきた。

絵の道に夢を追い続けてきた2人だったが、視覚障害が進行し通常の仕事ができない状態に追い込まれ、2人はそれぞれ長年勤めた会社を退職。その後、縁

あって同支援事業所を知り松野さんは25年4月から、藤原さんは同年5月から入所。「障がい者就労継続支援A型」の部に所属しながら、軽作業などの仕事に就いた。

職場で障害と、絵を描くのが好きという共通項もあり、2人はすぐに打ち解けあった。二度は絵の世界をあきらめていた自分でしたが、松野さんが積極的

に絵を描く姿に励まされ「目が見えている限り、絵を描き続けます」と意欲に燃えており、同事

業所の仕事の依頼で似顔絵を描くことも。2人には夢がある。松野さんが生み出したオリジナルキャラクター「パンダ」を世に出して行くという目標。「いっちょかみ」を名乗り、松野さんのキャラクターにストーリーをつけるアドバイザー役を引き受ける藤原さん。そばで2人を見守る同事業所のサービスマネージャー、杉山美紀さんは「2人はいつも笑顔で、私たちが学ぶところがいっぱいです。キャラクターを世に送り出すお手伝いをしていきたい」と話す。

東年始 完全を超える防犯を!

3区では犯罪者の大脱出は許さない!!

淀川3区では犯罪者の大脱出は許さない!!

この部分のタイトルは、福田守淀川警察署長が制作、「年末年始の犯罪者の大脱出は許さない」の思いが込められている。

スタローン、シュワルツネガー主演の映画「大脱出」(ギャガ配給)が平成26年1月10日(金)から全国で封切られるが、宣伝ポスターに淀川3区のキャラクターが引用されること

に。映画宣伝の関係者と榊正文区長が知人同士で話がまとまり、他の2区にも呼びかけた。年末から区内の町会の掲示板などに張られており、防犯告知と映画宣伝を兼ねている。

年の瀬の風物詩として、ベートーベンの交響曲第9番、通称「第九」のコンサートが日本全国各地で開かれている。淀川区内でも9回目となる「1千人の第九」コンサートが先ごろ開かれた。第九は四つの楽章で構成されるが、コンサートでは最終の第四楽章で、4人のソリストによる独唱と多数の合唱が入り混じり、「歓喜の歌」を歌い上げる▼ベートーベンが、生前に音楽ノートに記した言葉の一つが「勇気に満ちてあれ」という。確かに、歌う人も聴き入る人も、喜びの歌に気持ち弾み、「勇気が湧いてくる」と聞く。会場で体感した人のみしか実感できない言葉の重みだ▼淀川区で開催の運営委員会では、すでに平成26年の12月23日にメルパルクホールで10周年記念「1千人の第九」コンサートを実施する企画を進めている。第九の指導者と「淀川区民合唱団」の団員たちとの信頼関係が実を結ぶ10回目もある▼平成26年は、区政が敷かれて40年の節目にあたる。提案だが、淀川区が湧くという「第九」を大合唱してみようという。年の初めに、そのように夢を見ながら、新しい年に勇気と歓びを見いだしたい。(S)